

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和46年度～		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目	基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」			
	中項目	基本施策	08	快適な生活が送れるまち		問担当課(室) まち整備課	
	小項目	施策	35	港湾・漁港の整備		問職・氏名 管理係長 瀬尾茂樹	
事務事業名		02		港湾建設事業		問電話 0869-64-1833	
			このシート作成に要した時間			2.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	港湾施設利用者		
目的(何のために)	港湾施設の整備を行うことにより、船舶の安全・迅速な利用の確保と利便性の向上を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	県に要望し、港湾事業整備を実現させる。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	港湾改修県工事負担金	県が実施する補助事業	○
	港湾改修要望業務	港湾施設の整備要望	○

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	14,407	16,420	12,700
	必要人員人件費	人	0.07人	0.14人	0.09人
	事業費計	千円	15,074	17,792	13,571
決算額	国	千円			
	県	千円			
	支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	市	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円	15,074	17,792	13,571
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	県工事要望件数	件	11	3	3
	対前年比	%	-	27.3%	100.0%
	活動コスト	円	15,074,000	17,792,000	13,571,000
	単位当たりコスト	円	1,370,364	5,930,667	4,523,667

事業の成果		平成25年度事業				
県工事実施率(%)	成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目標値(A)		11	3	3	4
	実績値(B)		6	3	3	到達目標値
		達成率(B/A)	54.55%	100.00%	100.00%	3
成果指標設定の考え方・式や説明						
実施件数/要望件数						

事務事業の評価		Check	
該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い いや通やいい 高 低い
		D	
		C	

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	県の財政事情から要望箇所のすべては実施できないので、局所的に箇所絞って引き継続し行く。						

総合評価		総合評価	
地元調整など県事業の推進について積極的な協力を努めた。整備箇所の要望は、事業内容を見直すなどの改善をし、状況に応じた事業継続が必要である。		C	

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	県の財政状況も厳しいと認識しているが、引き続き要望を行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

がある成果指標に留意しながら有効性を評価